

V 教員のニーズに応じた校内研修会

D小学校では、年度当初に校内研修で学びたい内容について、全ての教員を対象にアンケートを実施しました。その結果を基に、各学年部で内容を計画・立案しました。この研修会は「自主研修会」と称され、月1回程度開催されました。校内で得意分野をもった教員を講師としたり、互いの授業実践について交流したりすることで教員同士の学びの場となっていました。多くの教員が自分の興味・関心に応じて自主的に参加していました。

V-① 1人1台端末の活用を目指す校内研修会

D小学校

今年度の第1回目として、4月に近隣の小学校の情報教育主任を講師として招き、1人1台端末の基本的な運用方法について全ての教員で研修会を行いました。

その後、全ての教員で行われる授業研究会では、6月中旬に「特別支援学級における1人1台端末の個に応じた活用」、6月下旬に「第5学年算数科における全体交流の場面での1人1台端末の効果的な活用」について提案されました。二つの授業による提案を受け、7月上旬には一人ひとりの教員が授業で1人1台端末をさらに有効に活用するための「自主研修会」が実施されました。

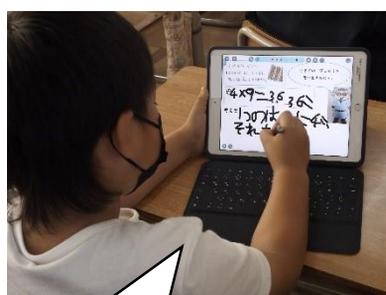


7月の「自主研修会」では、高学年部に所属する情報教育主任が講師となり、第5学年の授業での1人1台端末の活用方法が他の教員に伝えられました。直前に授業場面での活用方法を参観していることが、一人ひとりの教員の学びたいという意欲につながり、多くの教員が研修会に参加しました。情報教育主任が他にも授業で活用できる機能を提案し、参加した教員が実際に操作することで1人1台端末のよさを実感したり、具体的な活用場面について交流したりする研修会となりました。

「自主研修会」での教員の学びは、2学期の2年生の授業(算数科)につながっていきました!



自力解決で図を描く。
◎細い線で丸を描き、太い線で点を打つと、ノートよりも簡単に図が描ける。



ロイロノートにヒントカードが準備されている。
◎ヒントを選んで使うことができるので、必要なときに子どもが選んで活用できる。



ペア交流でのロイロノートの活用
◎ペアで話すときに言いたい部分を拡大して見せることができる。



V 教員のニーズに応じた校内研修会

V-② 特別の教科 道徳 の校内研修会

D小学校

特別の教科 道徳に関する「自主研修会」は、道徳の指導に精通している校内の教員が講師となって進められました。道徳の学習参観を翌週に控えている時期だったため、どの教員もあらかじめ学習参観で行う授業の主題を決め、よりよい授業をつくりたいという願いをもって参加していました。

「自主研修会」の内容としては、まず文部科学省が配信している授業動画を全員で視聴し、道徳の授業における工夫を全体で共有したうえで、「1人1台端末を活用した事前アンケート」「有効な切り返し・問い直し」「ねらいにせまるための意図的指名」「板書の工夫」「言語活動等の工夫」について講師から紹介されました。その後、学習参観で行う授業の指導案を検討しました。一人ではなく、講師を務める教員や同学年の教員とアイデアを出し合う中で、児童の具体的な姿を想定しながら、導入・展開・終末の流れ、発問や板書、指導上の留意点や支援等をまとめることで、学びを深めました。



講師を務めた
D小学校教員

自分が「自主研修会」の講師をする立場のときは、先生方にお伝えることを考えることで、自分のこれまでの取組をまとめたり、考えを整理したりすることができて、**自分自身の勉強**になります。



D小学校管理職

若手教員が多い中で、このように**学び合える機会がある**ことはとても貴重です。強制されて参加するのではなく、自主的に自由に参加できる仕組みも先生方の負担感をなくしているのだと思います。先生方が自主研修会のよさを実感しているからこそ続いているのですね。